



Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4

No.50-17 第2402回 例会 2012年11月1日(木)

卓話

会長 橋本恒男 会長エレクト 矢島淳一
副会長 萩原達夫 中島高夫 五十嵐敦子 幹事 澁澤健司
2012~13年度国際ロータリー会長 田中作次
第2570地区ガバナー 鈴木秀憲

進行: SAAチーフ 坂本雄一
国歌: 君が代

点鐘: 午後12時30分 橋本恒男 会長
ソング: 奉仕の理想

〔会長挨拶〕

橋本恒男 会長



皆様、こんにちは。大分朝晩が寒くなりましたが、お風邪等引かないよう、健康管理にはどうぞお気をつけてください。

今週末は本庄の最大のお祭りが盛大に行われます。ご参加の会員はご苦労さまです。

今月はロータリー月間です。今日の来訪者をご紹介致します。第2570地区ロータリー財団部門委員長の松本光司様です。後ほど松本様には卓話をしていただきます。米山奨学生のイ・ヨンジュ君です。そして来週11月5日にはネパールの学校の開校式のため、本庄ロータリークラブの会員4名が出発します。今日はその壮行会も例会の中で予定しています。このクラブを代表して行っていただけるのですから、経費の半分くらいを本来はクラブから出すのが当たり前かもしれませんが、予算の都合上、自費で開校式も立ち会っていただきます。なお、先週の鎌倉への旅行の際に、親睦委員長の計らいで、ネパールへ向かう会員にお守りを差し上げました。必ず守っていただけたらと思うので、健康にはくれぐれも気をつけて、無事のご帰還をお祈りしております。

先週、先々週と移動例会が続きましたが、社会奉仕委員会、親睦委員会の皆様には大変ご苦労をお掛けしました。ありがとうございました。本日も宜しくお願い致します。

〔幹事報告〕

澁澤健司 幹事



1. 本庄ロータリークラブネパール学校建設式典に本庄より5名の仲間が参加いたします。また他団体関係者のオブザーバー参加者5名の皆様を含み総勢10名で11月5日~11日迄の一週間です。
2. 本庄商業祭「楽市」のバザー商品協力をよろしくお願ひ致します。
3. 国際ロータリー2570地区新世代部門より、「第4回来日学生オリエンテーション」開催のご案内が来ております。日時は11月10日午後2時点鐘、会場は国立女性会館となっております。回覧致します。
4. 国立ロータリー2570地区新世代部門ライラ委員会より第7ライディーのご案内が来ております、日時は11月25日10時点鐘場所は紫雲閣でジャズピアノニスト大野智子さんをお招きしての開催です。案内を回覧いたします。
5. 本庄商工会議所より創立65周年記念式典及び歌謡ショーのご案内がきております。日時は11月28日午後1時40分から本庄市民文化会館で行います。ご出席の程宜しくお願ひ致します。
6. 本庄ボランティアグループ連絡会より、第3回例会の開催案内が来ております。日時は11月12日午後1時30分から3時30分本庄市中央公民館会議室で行います。

7. 2020年東京オリンピック・パラリンピック招致への協力についてガバナー会議長、石川正一様より案内文とパッチが来ております。
8. ボーイスカウト埼玉県育成会会長・田部井功様より維持会費振込の御礼の文章及び会員証が来ております、回覧致します。
9. 国際ロータリー2570地区クラブ奉仕部門会員増強委員会・高柳育行委員長より絵手紙で「友を増やそう」と来ております。
10. 腎・アイバンク第23号の会報が届いておりますので回覧いたします。
11. ロータリーの友及びガバナー月信11月号が届いております、回覧致します。
12. 今月はロータリー財団月間となります、皆様に財団委員会から表彰制度寄付金袋をお渡し致しましたので、ご協力宜しくお願い致します。ロータリーレートはドル80円となりますので、100ドルの寄付で8000円となります。

〔11月の会員誕生祝い〕



萩原達夫 11月22日 真下恵司 11月9日

〔11月の会員結婚祝い〕



岩淵富男 11月1日 岡崎正六 11月8日
 須永秀和 11月9日 藤井仁 11月7日
 横尾巧 11月22日 土屋進 11月8日

〔来訪者紹介〕

第2570地区ロータリー財団部門委員長

坂戸さつき RC 松本光司 様
 米山奨学生 李英載 君

〔会員増強表彰〕

狩野輝昭 直前会長
 田中克 前年度増強委員長



〔卓話者紹介〕

地域活性化委員会 茂木聡 委員長

〔卓話〕

第2570地区ロータリー財団部門委員長
 危機管理委員 坂戸さつき RC 松本光司 様



〔第2回会員増強セミナー報告〕

矢島淳一 会長エレクト

〔米山奨学部門セミナー報告〕

国際奉仕部門委員会 須永秀和 委員長

〔ネパール学校建設式典参加者壮行会・寸志贈呈〕
 茂木正 会員 金子章 会員 渋澤健司 幹事
 小林真紀子 事務局

〔ネパール式典参加者への激励の言葉〕

加藤玄静 パストガバナー

「ロータリーの友」より感想発表

広報雑誌委員会 笠原勝 副委員長

未来の夢計画

2017年にR財団が設立100周年を迎えることを踏まえて、R財団管理委員会はR財団が奉仕の第2世紀目に行うための計画を立案した。この計画はR財団を通じて、さらに持続が可能で目に見える成果を世界中にもたらしたいと言うロータリアンの願と感心を反映したものである。簡素化され、柔軟性を備えた新しいモデルでは、各種手続きをオンラインで行う事が出来る。(手続要覧)

R財団管理委員長

ウィリアムB・ボイドR財団管理委員長がR財団の未来の夢計画の目的と利点と題して(ja412)で報告しています。R財団の夢計画についてはR財団のイニチアチブとして進められていますが、実際は、ロータリーの戦略的イニチアチブとして、国際ロータリーとR財団両方に関わる重要なものです。戦略的な優先事項を通じて、ロータリーの長い歴史を基礎とし、現在、未来のロータリアン、地域と受益者のニーズを捉え、未来の夢計画がこの様な意図した結果をもたらせるよう、計画の成功の為に尽力しています。国際ロータリーとR財団の両方に大きく関係するこの未来に夢計画は、多くの望ましい結果をもたらすと期待されています。クラブがより強く、革新性と柔軟性を備えれば、ロータリーの認知度と公共のイメージ向上につながります。

2017年ビジョン

2017年のR財団がどの様になっているかの質問に関しての答えとして

- ・ポリオのない社会
- ・戦略パートナーとの協力を含み、より焦点を絞った重要な奉仕活動
- ・寄付者基盤が成長することによる寄付の増加
- ・補助金申請の手続きの簡素化と、申請から補助金授与までの時間の短縮

80対20コンセプト

未来の夢計画の初期段階で、R財団は様々なアンケート調査、研究、分析を実施しました。此の作業を通じて、2007年「80対20コンセプト」が誕生しました。従来のプログラムでは、財団の年次基金のうち(ポリオ除く)、長期的で大きな影響をもたらす活動に充てられてた資金は20%のみでした、80%が比較的短期で影響力の少ないプロジェクトに充てられていたことが分かりました。此の目標は資金の80%を長期的で影響力の大きなプロジェクトに充当する、というものです。此の資金モデルの下「新地区補助金」と「グローバル補助金」の資金モデルが採用されます。

「持続可能性」とは

- ・補助金がすべて使い終わった後でも、プロジェクトの影響が続くこと
- ・経済、文化、社会、人材、知識や技術など多角的な面において受け継がれて行く可能性があること
- ・できる限り地元の力を活用すること
- ・自然資源を尊重し、環境を破壊または悪化させないこと
- ・なるべく多くの人のために成ること

- ・奨学金または個人が重点分野に係る専門職において新しい斬新な方法の開発に貢献できるようにすること
- ・参加者が、地域で、また職場で、その影響力を発揮し、効率を高められるようにすること
- ・プロジェクトの継続性を図るため、「ロータリー地域共同隊(RCC)のような草の根レベルの個人やグループの力を活用すること

未来の夢計画の目標

・プログラムと運営を簡素化すること
R財団のプログラムの一例としてマッチング・グラントを対象とした報告では、1965年から2000年迄の35年間は1万件を処理しましたが、2000年から2004年の5年間で1万件、さらに2004年から2008年で1万件のマッチング・グラントと飛躍的に増えました。ロータリアンが財団の人道プログラムを評価することになったと言うことが言えます。過去10年間で、R財団は代表的なプログラムであるマッチング・グラントを相当数処理するようになってきました。又プログラムの数も多く、当時14種類ものR財団のプログラムがありました。しかしその一方で財団の職員は書類の処理に多くの時間を費やすことと成ってきました。R財団は2005年以来、世界中のロータリアンからのフィードバックを集め、未来の夢計画立案に当たってきました。

- ・グローバルな成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ることポリオ撲滅活動にはR大きな影響をもたらした。世界ポリオ撲滅計画へのロータリーの貢献1988年以来、ロータリーの寄付額は世界ポリオ撲滅計画の世界予算の約11%、民間部門だけでは約64%を締めています。ロータリーは政府諸国に財政支援を要請するうえで指導的役割を果たしています。1990年度よりWHO・ユニセフ・CDC(米国疾病対策センター)などのパートナーと協議して、ポリオ・プラス基金からの使途を決定しています。現在は専門アドバイザーの給与、運営面の支援、監視、社会動員、全国予防接種日や個別訪問実施ボランティアへの助成金などに資金を提供しています。このほかの分野でも大きな成果をもたらすようにすることが期待されています。
- ・地区と海外、両方の活動を支援することさまざまな地域社会で実施する活動を支援
- ・地区レベルとクラブレベルで、R財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。

現在ロータリーのプロジェクトの大半が、クラブや地区によって、R財団からの補助金を受けずに実施されています。R財団が活動に授与する金額は、年間1億ドルのみで有り、これは多くのロータリアンの活動からみた場合、氷山の一角にすぎません、言い換えれば何千、何万のプロジェクトは、R財団からの補助金を受けずに実施されています。すべてのプロジェクトの価値は、年間で少なくとも5億ドルから10億ドルに上ると推定されています。管理委員会は、R財団の限られた資金を、大きな影響を与えられ、長期的で測定可能な結果をもたらすプロジェクトに利用すべきと考えました。クラブや地区

がさまざまな地域社会で実施する活動を支援し活動しやすい財団と成るように変更されます。

- ・ロータリーの公共イメージを向上させること
ロータリーという組織の影響を十分に伝えること。2006~2007年に管理委員会が他の団体との比較調査を行いましたマツカーサー財団 年次予算規模2億6千万ドル 500件のプロジェクト実施 1プロジェクト予算は52万ドルライオンズクラブ 年次予算3,850万ドル 535件 1プロジェクト予算72,000ドルR財団は1億ドルの予算 4160件のプロジェクト1件当たり12,500ドルR財団は非常に低額のプロジェクトが主なものであり、このような現状を踏まえ世界のニーズに沿った見直しが必要と成りました。

この未来の夢計画の目標が達成できるかを図るために世界530地区のうち100の地区がパイロット地区として2010年7月1日から参加しています。その他の地区は伝統的地区と称し2013年7月1日よりこの計画に参加することに成ります。

6つの重点分野

平和と紛争予防/紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生問題・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展

R財団管理委員会は、新しい補助金構成のために、6つの重点分野を定めました。この分野はロータリアンが世界各地ですでに取り組んでいる重要な人道的課題やニーズを反映したものです。又各分野には具体的な目標があります。管理委員会は少なくとも9年間はこの重点分野に焦点をあてていきます。

新しい補助金モデル

グローバル補助金・新地区補助金

補助金利用のプロセスを簡素化するため、未来の夢計画で提供される補助金は、グローバル補助金と新地区補助金の二種類のみです。此の補助金モデルを通じて、クラブと地区がより大きな補助金の成果、柔軟性、持続可能性を得られるようにし、R財団への寄付が最大限に活用されるようにします。

グローバル補助金について

- ・長期的なプロジェクト・比較的高額な授与額・持続可能な成果・重点分野との合致
- ・国際財団活動資金(wf)からの上乗せ
- ・二つのオプション：

クラブ/地区が立案した補助金活動 パッケージ・グラント
グローバル補助金は、重点分野の目標に向けて、持続可能かつ測定可能なプロジェクトや活動を支援するものです。比較的高額な授与額が設定されており、国際活動資金(wf)からの最低授与額は15,000ドル、プロジェクトの全体の費用は30,000ドル以上です。クラブと地区は独自にグローバル補助金プロジェクトを立案できるほか、ロータリー財団と協力組織が立案したパッケージ・グラントを利用可能です。グローバル補助金は、wfからの上乗せとなるため、柔軟かつ経済的に奨学金を提供することもできます。さらに重点分野に関係する範囲で、複数のクラブ

が協力して人道的活動と教育的活動を織り交ぜたプロジェクトを実施することも可能です。

新地区補助金

- ・年に一度、一活で授与される補助金
- ・比較的規模の小さい活動やプロジェクト
- ・地元と海外の活動に資金を配分
- ・幅広い指針の下、地区に裁量権が与えられる

新地区補助金は、R財団の「使命」を支援するものですが、必ずしも六つの重点分野に関係している必要はありません。従いましてクラブと地区が幅広い範囲で活動を行うことができます。地区は年に一度、一活で新地区財団活動資金(ddf)の50%までを新地区補助金として申請します。ロータリアンやクラブからの申請を審査した後、資金を配分し、配分先について地区内クラブへ報告します。R財団への報告は最低限のものです。クラブと地区からの資金の利用計画を提出してもらうため、補助金終了の手続きを迅速に行うことができます。新地区補助金は地元、海外いずれにおける活動にも使用できます。比較的規模の小さい活動やプロジェクトを支援します。(奨学金・地区補助金・VTT/GSEなど)

2010-11年度未来の夢の補助金

パイロット地区の状況説明

1年目に補助金申請を行ったのは98%で、すべての試験地区が資格認定手続きを完了しました。271通のグローバル補助金が申請され208通が承認されました。授与されて国際活動資金(wf)530万ドル。新地区補助金はほとんどすべての地区が利用しました。95通の申請書が提出され、承認されました。申請書提出から承認までにかかった時間は、通常2週間以内です。総額600万ドルの補助金が授与されました。年度末までに完了した補助金は21件でした。

1年目の統計：グローバル補助金

1年目のグローバル補助金活動の詳細 全部で208口のグローバル補助金が授与され、平均授与額は約25,000ドル 平均予算額は57,000ドル、予算700万ドルのうち57,000ドルが授与されました。重点分野で最も多く行われた上位3つの分野は「水と衛生設備」が170万ドル、「疾病予防と治療」が100万ドル、「基本的教育と識字率向上」が945,000ドルでした。

1年目の統計：新地区補助金

95の新地区補助金を受理しました。利用できるDDF(地区活動資金)が小額の地区もあったため、一部の地区は新地区補助金を申請しませんでした、これらの地区はWFの上乗せを受けられるグローバル補助金を希望したようです。」

一活で地区に支払われる此の補助金は、平均授与額が64,000ドル、地区は此の資金を平均して21のクラブに配分しました。授与額は平均3,061ドル、財団寄りの授与額は610万ドル、最も多く行われた分野は、教育的活動、保険、地域発展の3つの分野です。水プロジェクトはグローバル補助金を使って実施されることが多いため、新地区補助金よりの授与額は少なくなっています。26地区が新地区補助金を使ってGSEのような

交換を実施しました。地区は新地区補助金の3%までを管理運営費に充てることができます。

手続き時間の比較

未来の夢計画の主な目標の一つは、補助金利用のプロセスを簡素化することです。地区補助金と新地区補助金の手続き時間を比較したものです。100の試験地区がかつての地区補助金利用の際、申請から補助金完了までにかかって時間は8~58カ月です。これにたいして、新地区補助金の場合は4~11カ月でした。平均地区補助金は20カ月、新築補助金は7カ月と成りました。新地区補助金は従来の地区補助金に比べ、手続きと所要時間が大幅に改善されたと言えます。

フィードバック

成果

- ・ポリオ撲滅を達成した後の活動分野を提示
- ・新地区補助金の柔軟
- ・焦点を絞り、より大きな成果を期待できるグローバル補助
- ・協力組織

課題

- ・グローバル補助金の手続き
- ・プロジェクトの持続可能性
- ・クラブや地区の協力関係
- ・試験地区以外の地区も新補助金構成へ移行

未来の夢委員会と管理委員会は過去12ヶ月間にわたり、補助金を申請した地区の指導者や大表連絡担当者から得Eメールや書簡を受け取り、また一連のアンケート調査も実施しました。寄せられたすべてのフィードバックは、ロータリアンのニーズに応え、計画の目標を達成するのにふさわしい調整を検討する際に役立てられます。ここまでの成果果でいの説明を致します。

成果

- ・重点分野がよく受け入れられた、好ましい反響があったこと。ポリオ撲滅後のロータリー財団の活動分野を示す事につながります。
- ・地区は新地区補助金の柔軟性を十分に生かす事ができたこと。地元の小規模な奉仕プロジェクトやGSEのような従来の補助金活動も支援できるほか、一部では大規模な国際奉仕プロジェクトを支援した例もありました。新地区補助金では、地元の学校に通う生徒に奨学金を提供できるため、奨学プロジェクトも人気がありました。
- ・クラブは、重点分野に関連する、申請額は15,000ドル以上のグローバル補助金についても申請書を提出しています。少数ですが、要件を満たしていないため承認されなかった申請もあります。
- ・管理委員会がいくつかの協力組織と提携関係を承認したため、パッケージ・グラントも開発されています。

課題

- ・いくつかの改善点も見られます、フィードバックによると、グローバル補助金の申請手続きやオンラインシステムをさらに簡素化する必要が有ります。
- ・プロジェクトを長期的持続可能なものとするためにはどうすべきかについて、クラブと地区にさらなる説明が必要です。短期間または1回限りのプロジェクトが

多く、貧困、疾病、非識字の根源となっている大きな問題に取り組むプロジェクトが少ない状況です。

- ・試験地区では、地区間の協力が困難が生まれました。未来の夢計画をテストするため、試験地区は新しい補助金モデルを利用しますが、試験地区とそれ以外の地区がこれまでに築いてきた協力関係に影響が出ました。ロータリー財団はこの問題を認識しており、代替的な協力方法を提供します。この結果、数多くの新しい協力関係が結ばれました。
- ・試験地区以外の多くの地区が未来の夢への移行について情報を希望しており、地区指導者に最新の情報や移行準備に関する情報が送られています。

【ニコニコBOX報告】

「R財団部門委員長 松本光司様。今日はよろしくお願ひします。」

橋本恒男 澁澤健司 高橋福八 加藤玄静 下山正男
福島文江 中島高夫 戸谷清一 温井一英 矢島淳一
須永秀和 横尾セツ 茂木 正 岡崎正六 野村正行
高柳育行

橋本恒男

「本日例会、よろしくお願ひします。」

茂木 聡

「先般の父の告別式にあたり、大勢の皆様にご会葬いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。」

関根 貢

「医療法人 関根外科医院のまま「はにぼんクリニック」として再出発致します。息子が主力で私は95%引退です。宜しくお願ひ申し上げます。」

渋谷修身

「先週の旅行、夫婦でお世話になりました。」

戸谷清一

「ケーブルテレビは街づくり。本庄まつりをハイビジョン生中継します。11/3(土)PM2:00~3:00 松川末樹シヨ一、PM5:00~8:00 本庄まつり」

藤井 仁

「10/13 祝賀会には、多数の皆様にご出席いただき、お陰様で盛会のうちに終了する事ができました。有難うございました。」

狩野輝昭 田中 克

「会員増強推進計画でRI会長賞受賞致しました。有難うございました。」

加藤玄静

「ネパール学校建設、長い間御苦勞様でした。帰朝報告を楽しみにしています。」

佐藤賀則

「親睦旅行、大勢のご参加ありがとうございました。ネパールご苦勞様です。生きて帰ってきて下さい。」

飯塚明男

「看護師の講義がありますので、早退させてもらいます。」

〔出席報告〕

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出 席 会員数	出 席 率
73名	5名	68名	51名	75%

次回プログラム発表

11月15日(木)PM12:30~第2例会

卓話 内野昭八郎 パスト会長

広報雑誌委員会 山田喜一・笠原 勝・福島正美・関口礼子

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 埼玉グランドホテル本庄700号

〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>